

専門部会報告シート

部会名	地域移行部会	報告回	令和6年度第3回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等
	1	◎長崎 昌尚	地域生活支援センターみ～な センター長
	2	○高橋 美佳	地域生活支援センターあけぼの 所長
	3	山口 真佐子	桜美林大学 特任教授
	4	松林 宏	J P S 訪問介護ステーション 管理者
	5	瀬川 彩奈	障害者支援施設みずき サービス管理責任者 マネージャー
	6	西浦 智恵	知的障害者相談員
	7	荒畑 正子	府中市精神障害者を守る家族会 理事
	8	清水 孝子	東京都立府中療育センター 地域療育支援課 地域療育支援主任技術員
	9	中村 美奈子	多摩府中保健所 地域保健第一担当 課長代理
※部会長は◎、副部会長は○			
現状	府中市障害者計画・障害福祉計画（第6期）では障害福祉計画に係る国の指針に基づき、障害のある人の地域生活への移行に関する成果目標を定めているが、現状での達成率は低く、地域移行支援へのさらなる取組が必要である。 昨年度は施設入所者に対して地域移行に関するアンケート調査を実施し、回答内容から地域移行を希望する入所者数等の実態を把握することができた。精神科病院からの地域移行対象者については、近隣病院に対してアンケート調査を行った。		
検討 テーマ (概要)	「府中市に暮らす人が住み慣れたまち（府中市）で安心して暮らすことができる地域社会」を目指す。		
取組 経過	【令和6年度の取組】 ○今年度取り組む課題について検討した。 ○アンケート調査を行った入所施設の見学を行い、事務局として同行した基幹相談支援担当の職員はアンケートに回答していただいた入所者から聴き取りを行った。 ○精神科病院へアンケート調査を行い、回答していただいた入院患者から聴き取り調査を行った。 ○聴き取りから見えた課題、改善策について検討した。 ○検討結果を整理し、答申書を作成した。		
検討 結果	1 今年度取り組む課題について （1）現状を知るために入所施設や精神科病院の見学を行うのはどうか。 （2）当事者の思いを聞き取る機会として昨年度実施検討した当事者の座談会を行うのはどうか。 （3）昨年度行った支援者側の座談会を障害種別ごとに実施するのはどうか。 （4）アンケートで地域移行したいと回答した人に対して掘り下げて検討して		

みるのはどうか。

⇒結論として（４）のアンケート結果の掘り下げを行うことを前提に、委員は近隣施設を見学し、事務局内の基幹相談支援担当の職員は見学先の施設で地域移行をしたいと回答した人に対して追加の聴き取りを行った。

２ 見学をした委員より知的障害者入所施設、身体障害者入所施設の感想の報告を行った。

３ 見学に同行した基幹相談支援担当の職員より利用者から聴き取った内容の報告を行い、以下の課題が抽出された。

（１）家族が歳をとってからでは、地域移行が難しい。

（２）せっかく入所できた施設を出るとするのは家族として考えにくい。

（３）地域移行後、医療依存度の高い人やてんかん発作がある人のフォローはできるのか。

（４）遠方施設の場合、地域移行時の家族の支援が得られにくい。

（５）当事者が地域移行をしようとする動機付け一番の課題。地域移行を推進するという、施設職員や相談支援専門員などの意識改革が必要。

４ 課題に対する対応策について

（１）相談支援専門員の意識改革については定期的に行っている事業所連絡会で地域移行の勉強会を行う。

（２）地域移行の体験の場を利用している様子を施設職員、家族、他の入所者が見ることによって、これならできると思ってもらえるようにする。そのためには体験の場が必要。

（３）地域移行を視覚的にイメージできる画像を作る。

（４）施設職員の障害理解を促すため三障害を含めた勉強会を行う。

（５）国・都への問題として考える。

５ 精神科病院に実施したアンケートのうち、退院をしたいと回答した当事者から聴き取った内容の報告を行い、以下の課題が抽出された。

（１）退院に向けた支援という視点を持った専門職が少ない。退院を促すための病院側の意識改革が必要。

（２）退院＝家族のもとへ戻るというイメージから、病院や家族は退院に対し後ろ向き。

（３）入院生活が長く社会経験が乏しい方を受け入れられるグループホームが少ない。

（４）地域生活支援拠点としての「体験の場」が必要。

６ 課題に対する対応策

（１）病院が退院できない事情をアセスメントシートに盛り込み、病院側の退院できない事情を課題として整理する。

（２）病院、グループホーム、PSW それぞれの立場で課題を共通認識するために、現場間での情報共有を兼ねた勉強会を実施する。（昨年度、地域移行部会の一環として実施した座談会の定例化）

（３）市職員による医療機関への継続的な訪問。

７ 答申書作成について

	(1) これらの検討結果をふまえ、府中市へ期待することを以下4点に整理し答申書へ盛り込むこととした。 ア 施設入所者と入院患者へのヒアリングを個々の特性やご家族の気持ちなどに配慮しながら、府中市の訪問の取組みを継続。 イ 地域生活のイメージを持ち、地域で生活をしたいという動機づけが重要である。その資源となる「体験の場」の整備。 ウ 地域移行支援を推進するためには関係機関の連携及び相互の学び合いが重要であり、支援者の地域移行に関する意識向上のため、今期の座談会のような、支援者間の顔の見える関係作りの機会の確保。 エ 精神科病院における退院を含む地域移行支援に係る府中市との連絡体制の構築。 (2) 答申書作成にあたっては内容を項目分けし、各委員で分担して原稿を作成。部会長、副部会長及び事務局で原稿を監修。部会最終会で確認、修正のうえ、内容を確定した。																											
会議開催状況と内容	<table><tr><td></td><td>日程</td><td>内容</td></tr><tr><td>第1回</td><td>4月19日</td><td>○今年度取り組む課題について協議</td></tr><tr><td>※</td><td>5月27日</td><td>○調布市知的障害者援護施設なごみ見学 (知的障害者)</td></tr><tr><td>※</td><td>6月5日</td><td>○社会福祉法人友愛十字会 友愛園見学 (身体障害者)</td></tr><tr><td>第2回</td><td>6月12日</td><td>○施設見学の感想、報告(委員) ○利用者聴き取りの報告(事務局) ○利用者聴き取りから抽出された課題を協議</td></tr><tr><td>第3回</td><td>7月25日</td><td>○利用者聴き取りから抽出された課題を協議 ○答申作成について</td></tr><tr><td>第4回</td><td>9月12日</td><td>○精神科病棟入院中の当事者聴き取り報告(事務局) ○当事者聴き取りから抽出された課題を協議 ○答申作成について</td></tr><tr><td>第5回</td><td>10月28日</td><td>○答申内容の整理と検討 ○答申書作成の役割分担</td></tr><tr><td>第6回</td><td>12月9日</td><td>○答申内容の確定</td></tr></table>		日程	内容	第1回	4月19日	○今年度取り組む課題について協議	※	5月27日	○調布市知的障害者援護施設なごみ見学 (知的障害者)	※	6月5日	○社会福祉法人友愛十字会 友愛園見学 (身体障害者)	第2回	6月12日	○施設見学の感想、報告(委員) ○利用者聴き取りの報告(事務局) ○利用者聴き取りから抽出された課題を協議	第3回	7月25日	○利用者聴き取りから抽出された課題を協議 ○答申作成について	第4回	9月12日	○精神科病棟入院中の当事者聴き取り報告(事務局) ○当事者聴き取りから抽出された課題を協議 ○答申作成について	第5回	10月28日	○答申内容の整理と検討 ○答申書作成の役割分担	第6回	12月9日	○答申内容の確定
	日程	内容																										
第1回	4月19日	○今年度取り組む課題について協議																										
※	5月27日	○調布市知的障害者援護施設なごみ見学 (知的障害者)																										
※	6月5日	○社会福祉法人友愛十字会 友愛園見学 (身体障害者)																										
第2回	6月12日	○施設見学の感想、報告(委員) ○利用者聴き取りの報告(事務局) ○利用者聴き取りから抽出された課題を協議																										
第3回	7月25日	○利用者聴き取りから抽出された課題を協議 ○答申作成について																										
第4回	9月12日	○精神科病棟入院中の当事者聴き取り報告(事務局) ○当事者聴き取りから抽出された課題を協議 ○答申作成について																										
第5回	10月28日	○答申内容の整理と検討 ○答申書作成の役割分担																										
第6回	12月9日	○答申内容の確定																										